

■ 環境家計簿について考えてみましょう

2010年度エコライフ決算書での統一集計期間が12月で終了しました。
 また35周年を記念して開始した統一集計活動(3年間)にもご協力いただきありがとうございました。
 引き続き地球温暖化防止活動への参加をお願い致します。

今回はエコライフ決算書(環境家計簿)について考えてみます。
 作年の夏は猛暑が続きエアコンの使用頻度や時間が大幅に増えたご家庭が多いと思います。
 環境家計簿上では数値が悪化してしまったのが現状ではないでしょうか？ しかしながら、
 環境家計簿の本来の目的は、実態をよく把握して何か対策がないか工夫することです。



植樹はCO2吸収活動

下記の表に示すように結果が悪化しても良化しても理由があります。

結果	推定要因(事例)	私たちにできること(事例)
悪化	気候変動 猛暑、長雨など	・結果は結果として把握し、他の行動でカバーする * 公共交通機関利用 * 地産地消 * 環境ボランティアへの参加など
	家庭環境 家族が増えた(孫の誕生など)	・家族一人当たりの削減量を減らす * 総量は必ず増えるので、一人当たりで比較する
	家庭環境 家屋の老朽化 家電製品の老朽化	・可能な範囲で住環境を順次切り替える(CO2±ゼロの暮しの実現) * Panasonicが提案する、省エネ・創エネ・蓄エネの暮し ・住空間をきめ細かく観察し、省エネ対策を実践 * 隙間の断熱、厚地カーテンへ置換、窓の二重化など
	日常生活 努力するも頭打ち	・家計簿には反映されないが、環境社会貢献などに参加する * 支部や地域主催のボランティア活動に参加(植樹、里山整備など)
良化	気候変動 冷夏、暖冬など	・外部要因で改善されたことを認識し、活動を継続 * 生活スタイル改善を継続して習慣化する
	家庭環境 家族が減った(子供の独立など)	・一人当たりで改善されたかどうか確認し、悪ければ対策する * 規則正しい生活、適度な運動、生活スタイル改善、環境社会貢献など
	家庭環境 エコ住宅にした 省エネ家電に置換	・改善された数値を家計簿の新たな基準として見直す * 新しい住環境やエコ製品での使い方の工夫など
	日常生活 各家庭で努力した	・結果に満足せず、活動をさらに継続する * 環境家計簿チェックリストで出来ているかどうか客観的に確認する

それを要因別に分析し、できることから対策を行うことが重要です。
 気候変動のように個人では対策が難しい場合もあります。このような時は環境家計簿に
 反映されなくても別の活動で、CO2削減や抑制につながればよいと思います。

結果も大事ですが、個人としてはまず身近にできる活動を継続し積み上げることではないでしょうか。
 それがひいては社会貢献にもつながり、また、豊かな人生を実現する生き甲斐にもなります。

CO2削減とバイ・パナソニックの実現に貢献しましょう。

「地球温暖化防止に私たちができること」 2011.01掲載

生活を見直し
 出来るものから
 始めてみましょう。



2011.1.3
 パナソニック松愛会
 横浜東支部 エコ担当 小川友通
 横浜西支部 エコ担当 畠山勝己